



4月号

さやまだい

公民館・地区センターだより

平成31年
2019年4月



楽しい春まつり



歌声軽やかに

3月23日(土)花冷えで曇り空の中、元気プラザで春祭りが開催されました。10時半開始ということでしたが、早くから人の訪れがあり、寒さを感じさせない活況振りでした▼手作り手芸品、マドレーヌ、パンケーキ、ホットドッグなどの手作り食品、飲み物などが店に並び、会場内に置かれたテーブルや岩石園の周り、ホールのテーブルにと、三々五々楽しい語らいをくりひろげていました▼会場内では、合唱、体操、ウォーキングなどのパフォーマンスも披露され、来訪者の大人も子供も自由に参加し楽しみました▼室内では、認知症がテーマのドキュメンタリー映画が2回に分けて上映されました。



映画上映会 | 老いの課題です

映画の感想：「考えさせられました。日頃から地域の交わりをたくさんつくっておきたい。娘がこの映画のように、明るく接してくれるとありがたい。(女性)」

来場者の声：「近くの団地から来ました。このお祭りは、雰囲気がとても温かい。会場を盛り上げているスタッフは偉いと思う。みんなで助け合って、見ていて気持ちが良い。寒いけど来て良かった。(女性)」



手芸品も豊富に



岩石園の周りで食事

子どもと来ました。(母) うどんがおいしい。お母さんが食べているチリコンカンもカレー味で美味しいです。(子)「春祭りは2、3回来ています。さやまっ茶プリンとフライドポテトを食べました。おいしいです。(小2)」「いろいろな世代の方が集まっておられていいですね。映画も良かった。(男性)」「コーラスが素晴らしかった。(女性)」 (牧野記者)

狭山台中学校卒業式

3月15日(金)小春日和の中、228名の卒業生が在校生と保護者が見守るなか、会場に迎えられます▼一人ずつ壇上で卒業証書を受け取り、校長先生から「2つの小学校から集まった初めての学年でした。お互いになじみが薄かった皆さんが3年生になると、部活動の場では頑張り、運動会ではリーダー性を発揮し、音楽祭での見事な歌声にと在校生への良い模範となり、かっこいい3年生をみせてくれました。3年間落ち着いた学校を築いてくれてありがとう。これからも自信を持って進んでいってください。」と、はなむけの言葉を贈られました▼終了後、在校生の花道を通り、慣れ親しんだ校舎を後にしました。

卒業生の声：「良いクラスだったので別れが悲しいです。将来は保育士になりたいのでこれから頑張りたいです。(女子)」卒業生の一人が涙ながらもこれからの思いを語ってくれました。

(牧野記者)



卒業式会場



先生と卒業生入場



在校生に見送られて